

**第16回ビジネス講座**  
**「インバウンドと鎌倉の観光振興」～これからのキャッシュレス化～**  
**を開催しました！！** (関東運輸局)

関東運輸局交通政策部では、2017年10月より「関東運輸局ビジネス講座」と銘打ち、公共交通・観光・物流・バリアフリー等、運輸局の業務に関係する題材をテーマに外部より講師を招いて公開講座を開催しています。

2019年度の3回目、通算16回目となる今回は、7月3日(水)に「インバウンドと鎌倉の観光振興～これからのキャッシュレス化～」と題し、鎌倉商工会議所 専務理事 波多辺 弘三氏にご講演いただきました。

波多辺氏は、昭和53年に鎌倉商工会議所に入所され、平成19年からは専務理事を務められています。また、平成29年からは公益財団法人 鎌倉市観光協会 副会長にも就任されています。

講演では、①インバウンド ②鎌倉の観光振興 ③これからのキャッシュレス化 の順にお話いただきました。



まず、①インバウンドについては、世界の国々と比較した日本の観光収入の状況やGDPと人口の関係等をご説明いただきました。



②鎌倉の観光振興では、鎌倉の来訪者の80%がリピーターであり、その内60%が5回以上来訪しているハードリピーターであるとのことで、歴史・伝統・文化だけでなく海や山などの自然資源や食も兼ね備えた鎌倉の観光地としての魅力と、反面、都心からの近さゆえ来訪者の2%しか宿泊していない、日帰り旅行に特化しているという現状と課題をお話いただきました。また、鎌倉の有名なあじさいですが、梅雨の時期に観光客が少なく地元の業者が困っていたことから、商工会議所が平成2年から「あじさい祭り」を開催し全国にアピールしたもので、比較的新しい取組であることに大変驚きました。現在では梅雨の6月は1月に次いで観光客が多く訪れる月となっているそうです。

③これからのキャッシュレス化では、国別の事情として、韓国ではクレジットカードを使用すると一定の条件の下、所得控除が受けられること、中国ではアリペイで病院やタクシーの予約や支払いが可能で、QRコード決済が屋台でも使用できる程広まっていること、スウェーデンでは政府がキャッシュレス化を推進し、交通機関料金が電子決済でしか支払えなくなり、店舗でも現金お断りの店があるとのことで、各国でキャッシュレス化が広まった背景などもお話しいただきました。

また、鎌倉商工会議所が藤沢商工会議所、ネットスターズ、NTT 東日本と連携し実施しているキャッシュレス決済の導入支援についてもご説明いただき、導入店側の利便性を考えると、連携業者の選定方法や選定基準が非常に重要であるとのことでした。

今後キャッシュレス決済を導入・推進しようと考えている団体や事業者等にとって、事業者主体の取組みや考え方を聞くことができ、大変参考になったのではないかと思います。

当日の資料等は関東運輸局ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

【今後の開催予定】

次回の第17回ビジネス講座は、9月12日（木）15：00～「災害時支援物資物流における官民連携について考える」～自治体の「民にまかせる」体制構築の取組みを振り返って～と題し、株式会社 日通総合研究所 シニア・コンサルタント 矢野 裕之 氏 にご講演いただきます。

詳細及び参加申込みのご案内につきましては、関東運輸局ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<関東運輸局 ビジネス講座 URL>

[http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu\\_seisaku/business/index.html](http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/koutuu_seisaku/business/index.html)

なお、第18回は特別編として、10月8日（火）13：00～ 江戸東京博物館 大ホールを会場に公共交通シンポジウム 「進む変革の波！地域の未来を担う公共交通」を開催いたします。詳細は決定次第、関東運輸局ホームページに掲載いたします。